

日本災害情報学会にて優秀発表賞を受賞しました（2026/3/15）

テーマ：災害科学，津波避難
会場：東京大学 法学政治学系総合教育棟

2026年3月14日（土）～15日（日）の2日間，東京大学で日本災害情報学会の学会大会が開催されました。日本災害情報学会は、「災害情報」をキーワードに，防災・減災に役立つ災害情報や，その伝達・受容のあり方などを調査・研究する学会です。佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）が指導教員を担当する修士1年の星美沙希氏，博士2年の成田峻之輔氏の2名の大学院生が優秀発表賞（口頭発表部門）を受賞しました。同賞は，優れた発表（原則40歳未満の筆頭著者が対象）に対して贈られる賞です。受賞発表は以下のとおりです。また，同大会では，佐藤翔輔准教授が監修を行っている，LINE ヤフー株式会社 サステナビリティ推進 CBU CSR ユニットの一連の取り組みに対して，日本災害情報学会の「廣井賞（社会的功績分野）」の授与式・記念講演もあわせて行われました。

青森県八戸市の住民を対象とした徒歩避難促進における「ナッジ」の利用可能性の検討
（星美沙希，佐藤翔輔，今村文彦）

4K ライブカメラ映像への物体検出アルゴリズム適用による津波発生時における海水浴客数自動推計手法の検証
（成田峻之輔，和泉慶乃佑，佐藤翔輔，今村文彦）

※下線は当研究所構成員



修士1年 星氏の受賞時の様子



博士2年 成田氏の受賞時の様子
（前回大会で受賞内定）

文責：佐藤翔輔（防災実践推進部門）